

森林内の野外活動

2018年5月6日(日)晴れ 八王子市 長池公園

「FIT友の会」主催、森林インストラクター資格取得支援講座の三日目「森林内の野外活動」を八王子市の長池公園で実施しました。

午前中は公園内の広場で野外ゲームとロープワークの実習を行いました。講師の田川さんの指導でアイスブレーキング、プロログ、メインアクティビティ、エピログと野外ゲームの流れにそって、「後だしじゃんけん」「輪になって」、「ノーズ」、「動物交差点」「蝙蝠と蛾」「樵の親方」「オーディア」、「フィールドビンゴ」ゲームを体験しました。

5人一組で2チームに分かれて実施した「樵の親方」では樹木の特徴をどう掴むか、葉っぱの形やつき方、枝ぶり、樹形、樹皮の色や凸凹など、これから樹木を勉強する会員にとって参考になるゲームでした。ゲーム後に講師から、アイスブレーキングでは、参加者同士だけでなく講師も一緒に楽しめること、知識がなくても楽しめること、チームワークが必要なゲームを組み合わせる事等、野外ゲームを行う上での注意点の説明がありました。

ロープワークでは、こぶを作る、輪を作る、ロープを繋ぐ、木に縛る、各用途で10種類の結びを練習しました。こぶを作る止め結びは簡単ですが、八の字結び、本結びになると少し難しく、輪を作る鎧結び、もやい結びになるとかなり難しくなり、一回の実習で習得することは困難です。支給した練習用ロープでテキストを見ながら繰り返しの練習が必要です。

午後は会議室で「野外活動」の講義とネイチャークラフトの実習を行いました。講義では「野外活動」の科目の解説と過去出題された項目・キーワードについて説明がありました。講師から、受験勉強の進め方の一例として、一問一葉の過去問題カードを作り、携帯手帳サイズのバインダーに綴じて、どこでもいつでも利用する勉強方法の紹介がありました。

クラフト実習では、サクラとクロモジの小枝を使って「合格鉛筆」「三色鉛筆ブローチ」を作りました。小刀や電動ドリルを使うため、刃物の正しい持ち方や安全な使い方の習得が必須です。電動ドリルでの穴あけ作業、小刀を使った鉛筆削り作業を通して、刃物の正しい安全な使い方を練習しました。

参加者：秋里さん、安久さん、氏家さん、芝原さん、高田さん、福山さん、古谷さん、山口さん
(8名)

講師：田川 裕則さん

運営スタッフ：岡部さん、藤岡さん、横井さん(写真)



開会式：講師は田川さん



野外ゲーム実習：ノーズ



野外ゲーム実習：樵の親方



ロープワーク実習：ロープを繋ぐ本結び



講義：森林内の野外活動について



クラフト実習：合格鉛筆を作る



満開のエゴノキの花



ニシキギにも地味な花が